

事例紹介シート

| | | |
|--|---|---|
| ①学校名 | 亀岡市立育親中学校 | |
| ②教科・領域 科目等 | 家庭科 南丹教育局管内中高連携授業（出前授業：府立南丹高校家庭科教諭） | |
| ③単元名 | 妊婦の疑似体験 | |
| ④目標 | 妊婦の疑似体験を通して、妊婦さんがどんなことに困り感を抱いているのかを考え、実生活で妊婦さんを見かけたら、どのような行動をすればよいのかを考える。 | |
| ⑤受講者 | （ 3 ）年生 （ 29 ）名 | |
| ⑥内容 ・取組の特徴 や工夫 ・連携先 等 | <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらい「妊婦の疑似体験を通して、妊婦さんがどんなことに困り感を抱いているのかを考え、実生活で妊婦さんを見かけたら、どのような行動をすればよいのか」を伝える。 ・隣の教室へ移動し、グループごとに妊婦体験ジャケットを着用して体験する。 (歩く・椅子に座る・立ち上がる・床に落ちた物を拾う・階段の上り下り・寝る・起き上がる) ・サポートする側は、体験者の様子をタブレットで撮影し、行動時の補助を行う。 ・撮影した画像で普段との違いに気付かせる。 ・もし本当にお腹に赤ちゃんがいたら、同じ動きがとれるだろうか、またサポートする側に求めることやサポートすべきことは何かを考え、体験レポートを書く。 ・最後に数名の生徒にレポートの内容を発表させる。 |      |
| ⑦成果・生徒 の感想等 | <ul style="list-style-type: none"> ・どの生徒も真剣かつ楽しく体験学習に取り組むことができた。 ・不便さを感じる一方で、多くの生徒が軽々と行動する場面が見られた。そのような行動意識を踏まえて、担当教諭から、実際胎内に赤ちゃんがいたら同じような行動はとれないことを丁寧に諭していただいた。その話を聞いていた生徒たちの表情は真剣になった。 ・サポートする側が何をすべきか真剣に考えることができた。 ・南丹高校と南丹教育局から多くの体験ジャケットをお借りして、全員に体験させられたことはとても有意義であった。 ・12月の「新生児人形をだっこしよう」、本校の3年生対象性教育「助産師さんの講演」とタイアップできたのは効果的だった。 | |